

福岡市子ども読書活動推進計画（第4次）の基本的な考え方

福岡市子ども読書活動推進計画（第4次）の概要【総論】

計画策定の意義

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくために欠くことのできないものであり、子どもの読書活動推進に関する基本的な考え方や施策の方向性について明らかにする。

- 計画の位置づけ：「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年法律第154号）第9条第2項に定める「市町村子ども読書活動推進計画」として策定
- 計画の対象：概ね18才以下のすべての子ども
- 計画期間：令和5年度から令和10年度の6年間

1. 計画の目指す姿

《第2次福岡市教育振興基本計画》  
やさしさとたくましさをもち ともに学び  
未来を創り出す子ども

- ・確かな学力の向上、豊かな心の育成
- ・子どもの読書活動の推進



《第3次計画における成果と課題》

【成果】  
○身近な場所に読みたい本がある環境づくりを行ったことで、読書活動の充実につなげることができた。  
○あらゆる年齢層に対して読書に親しむ機会を提供することができた。

【課題】  
○1か月に本を1冊以上読む子どもの割合が減少傾向。  
○読書に関する様々な取組みの状況等を情報共有の場としてICTを活用する等、ICTを活用した体制づくりの推進。



第4次計画では、第3次計画の5つの基本目標を4つに整理し、その成果を活かすとともに、課題解決に向け、4つの分野で取組みの行政セクション等を明確にし、子ども達の本の世界を広げる読書活動を推進する。

2. 基本目標と数値目標

子ども達が心豊かに生きていくために、自ら読書を楽しみながら人との関わりの中で読書の楽しみを広げ、子どもと大人が共にことば輝くまち「福岡市」を目指して、子どもの読書活動を推進する。

広げよう 子ども達の本の世界  
共につくろう ことば輝くまち

【4つの目標】

- 1 自分から読書に親しめる環境づくり
- 2 自分から読書に親しめる機会づくり
- 3 子どもの読書活動を支える人材づくり

4 子どもの読書活動を支えるしくみづくり

【数値目標】

- 読書が好きな子どもの割合…90%以上
  - 1か月に本を1冊以上読む子どもの割合…5%増
- 【現状値】令和3年度意識調査
- ・読書が好きな子どもの割合：87.5%
  - ・1か月に本を1冊以上読む子どもの割合：69.1%

3. 重点的に取り組む施策

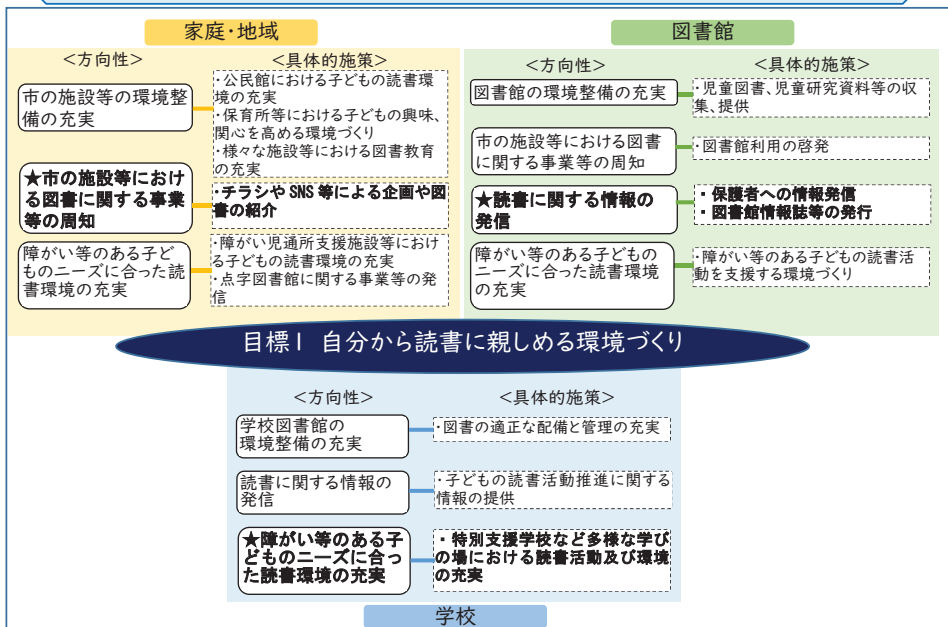
目標	家庭・地域	学校	図書館
1 自分から読書に親しめる環境づくり	★市の施設等における図書に関する事業等の周知	★障がい等のある子どものニーズに合った読書環境の充実	★読書に関する情報の発信
2 自分から読書に親しめる機会づくり	★乳幼児期から大人と一緒に本とふれあう機会づくり	★読書を楽しむ、楽しさを共有する、楽しみ方を知る機会づくり	★大人も子どもも楽しめる読書に親しむ機会づくり
3 子どもの読書活動を支える人材づくり	★地域の読書活動に関わる人材への活動の支援	★子ども読書リーダーの育成	★講座の充実
4 子どもの読書活動を支えるしくみづくり	★家庭、地域、学校、図書館等が連携し課題解決を図るためのICTを活用した体制の強化		

4. 推進体制

- 1. 子ども読書活動を推進するための体制を強化
- 2. 関連機関等との連携
- 3. 地域ボランティア等との共働

パブリックコメントの実施  
令和4年12月下旬  
～令和5年1月下旬

福岡市子ども読書活動推進計画(第4次)体系図  
 広げよう 子ども達の本の世界 共につくろう ことば輝くまち



数値目標 読書が好きな子どもの割合・・・90%以上  
 1か月に本を1冊以上読む子どもの割合・・・5%増

